

**令和4年度 第2回
国立大学法人北海道大学総長選考・監察会議議事要旨**

日 時 令和4年9月22日（木）15:15～17:20
場 所 北海道大学事務局 中会議室A
出席者 10名
（学外） 杉江、浅香、五十嵐、河合、松沢 各委員
（学内） 小名木、瀬戸口、畠山、西邑、居城 各委員

オブザーバー

山口理事、吉見理事、増田理事、高橋監事、石川監事

配付資料

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 監事監査報告 |
| 2 | 学内からの意見 |
| 3 | 総長の自己点検書 |
| 4 | 望まれる総長像 |
| 5 | 総長選考時の實金総長による所見 |
| 6 | 第4期中期目標期間に向けた総長方針（R2.12） |
| 7 | ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書 |
| 8 | 統合報告書 |
| 9 | 理事からの説明資料 |

議 事

議事に先立ち、事務局から、令和4年6月9日に開催された令和4年度第1回総長選考・監察会議の議事要旨について確認があった。

【 議 題 】

1 総長の業務執行状況の確認について

事務局から進行について説明があった後、理事との意見交換及び総長との意見交換が行われた。総長の業務執行状況の確認結果については、後日、委員に内容を確認した上で確定し、総長へ伝達することが了承された。

(主な意見)

- ・学外のステークホルダーの意見を積極的に汲み取り、所信表明や中期計画に従って大学改革を進めている。
- ・教職員とのコミュニケーションが円滑に行われていることは高く評価できる。
- ・研究力向上のためには、個々の研究者の研究テーマと、大学のビジョンや社会課題を結びつけていくことも大切ではないか。
- ・総長の学内・学外各業務の重要度とそのバランスを再考願う。
- ・本学もプロボスト職の設置について検討する時期にきているのではないか。

(以 上)